

産炭国に対する石炭採掘・保安に関する技術移転等事業

平成30年度予算額 **13.5 億円 (13.5億円)**

事業の内容

事業目的

- アジア地域を中心とした産炭国への石炭採掘・保安技術の技術移転協力を行うことで、産炭国の石炭生産効率の向上及び生産量の拡大を図るとともに、産炭国との重層的な協力関係を強化し、ひいては我が国への海外炭の安定供給を確保します。

事業概要

- 国内受入研修事業
産炭国の炭鉱技術者を国内に受け入れ、実際に炭鉱現場等において日本の優れた石炭採掘・保安技術を直接指導する等の研修を行います。
- 海外派遣研修事業
我が国の炭鉱技術者を産炭国へ長期間派遣し、現場に即した技術指導を行います。
- 石炭採掘技術等に関する新たな取組への支援
産炭国等におけるニーズを踏まえ、石炭採掘技術等に関する新たな取組（坑内で発生するメタガスの有効利用等）への支援を行います。

成果目標

- 産炭国への高度な採掘・保安技術の習得支援を通じて、我が国の石炭の2030年度（平成42年度）における自主開発比率60%以上を達成します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

国内炭鉱における坑道掘削技術の研修の様相



海外産炭国における保安技術の研修の様相

